

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 案件一覧

(令和5年12月6日開催分)

○所管事務報告 8件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
経営企画部	1	大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和5年9～10月）等について	4	伊藤 広聴広報課長
スポーツ・文化・国際都市部	2	スポーツ健康都市宣言記念事業 「第40回大田区区民スポーツまつり」の実施結果について	11	千葉 スポーツ推進課長
	3	東京2020大会レガシー事業 大田区ランニング教室(第一回)の実施結果について	12	
	4	「第1回 WBSC 女子U-15 ソフトボールワールドカップ2023」大会結果報告について	13	
	5	ふる浜スポーツフェスティバルの実施結果について	14	
産業経済部	6	大田観光協会事業「勝海舟生涯探訪モニターツアー」について（実施結果）	10	小池 商業・観光振興担当課長
	7	大田観光協会事業「Instagramキャンペーン #おおたの推しグルメ」について（実施結果）	11	
	8	大田観光協会の取組について（実施結果）	12	

大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和5年9～10月）等について

1 大田区シティプロモーション推進事業の進捗について

情報発信のさらなる強化、庁内推進体制の拡充に取り組み、シティプロモーション専用公式サイト「ユニークおおた」及びSNSは利用が促進されている。大田区基本構想策定の方向性を注視しながらまちの魅力を区内外に発信し、区に対する愛着度や認知度向上をめざす。

2 大田区シティプロモーション公式サイト「ユニークおおた」の実績

(1) 専用サイト「ユニークおおた」の閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
総ビュー数	37,259	32,821	28,885	41,362	42,042	47,689	59,034

(2) 発信内容

- ・特集記事 5本

公開日	タイトル
5月26日	5月下旬から6月上旬が見ごろ「スカシユリ」を見に羽田へ遊びに行こう！
7月14日	地ビールでカンパイ！「大田区の地ビール」を訪ねる
8月25日	「都心でキャンプ」のレア体験～大田区の宿泊キャンプ施設に行ってみよう！
10月6日	食欲の秋にとんかつを 激戦区・大田区で揚げたてとんかつを食す！
11月10日	大田区福祉施設とアーティストをつなぐ プラサート（+ART）始動！

特集記事のほか103本の記事を投稿しました。



(3) SNSの状況

- ・フォロワー数

	3月末日	6月末日	7月末日	8月末日	9月末日	10月末日
Twitter	2,084	2,152 (23)	2,183 (31)	2,254 (71)	2,300 (46)	2,348 (48)
Instagram	978	1,007 (10)	1,034 (27)	1,080 (46)	1,156 (76)	1,197 (41)
Facebook	712	722 (3)	724 (2)	740 (16)	750 (10)	756 (6)

※カッコ内は前月比。6月末日時点は3月末日時点からの月平均。小数点以下を四捨五入

(次頁あり)

3 動画を活用したシティプロモーションの強化

おおたランニングフェスティバル 2024 の募集にあたってはねびょん、オーちゃんも登場の動画を活用



ランニングフェスティバル募集動画

4 イベントへの参加によるシティプロモーションの強化

(1) 東京湾大感謝祭・地元自慢におけるPR活動

ア 日程、会場

令和5年10月15日(日)、横浜市庁舎

イ 内容

動画を活用した大田区及び区臨海部の魅力をプレゼンテーション



東京湾大感謝祭の様子

(2) O T A ふれあいフェスタ 2023

ア 日程

令和5年11月4日(土)、5日(日)

イ 会場

4日 平和の森公園(緑のエリア)、5日 平和島公園(太陽のエリア)

ウ 内容

輪投げ、謎解き、動画撮影等への参加を通じて、来場者に区の魅力を再認識いただく機会を提供した。また、ポスターを活用してユニークおおた SNS のフォローを呼びかけた。



大田区シティプロモーションブース



区内名所をめぐって遊ぶ輪投げ



ユニークおおた PR ポスター

5 今後の予定

若い世代や区外在住者への情報発信及び新たな発信媒体の活用開始等による発信強化に取り組む。

(1) 「二十歳のつどい」におけるPRブース出展

ア 日程

令和6年1月8日(月・祝)

イ 内容

出席者に、区の魅力やユニークおおたのPRを行う。

(2) その他

ア ユニークおおた「フォトキャンペーン」の実施

イ Yahoo!くらしを活用した情報発信の強化

ウ 区内デジタルサイネージを活用した情報発信の強化

スポーツ健康都市宣言記念事業 「第40回大田区区民スポーツまつり」の実施結果について

1 目的

区民の間に広くスポーツへの関心と理解を深め、様々なスポーツ種目に親しむ機会を創出する。子どもから高齢者まで参加できるプログラムを提供し、健康・体力づくり、生きがいを創出するとともに、区民相互の交流の契機とする。

2 実施状況

(1) 日 程

令和5年10月9日（月・祝）前後2週間

(2) 会 場

大田区総合体育館、大森スポーツセンター、田園調布せせらぎ館ほか
（全29会場）

(3) 参加者数

約8,600人（ウォーキングイベント含む）

3 当日の様子



開会セレモニー後のラジオ体操



卓球体験

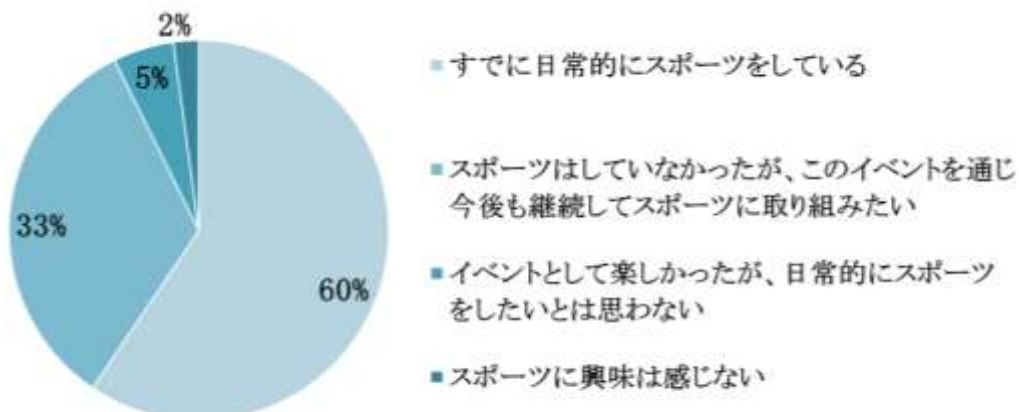


ボルダリング体験

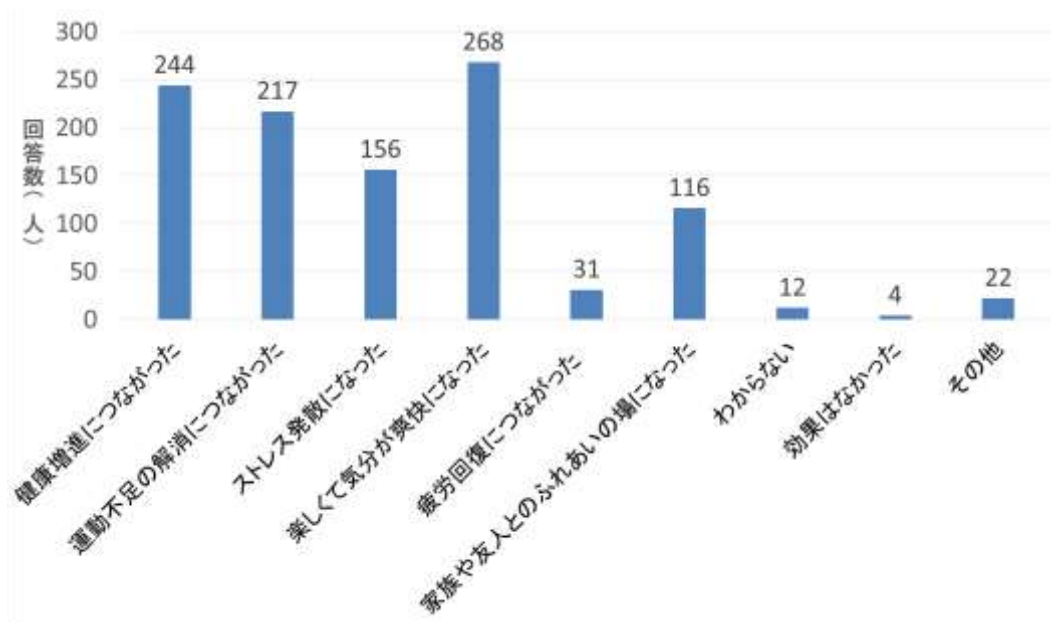
4 参加者のアンケート調査結果（抜粋）

回答者数：641人

(1) 参加を契機としたスポーツへの興味の有無



(2) 参加したことによる効果（複数回答）



5 参加者アンケート自由意見（抜粋）

- (1) 普段できないスポーツに触れることができ楽しかった。
- (2) 気軽に参加でき、家族で楽しめた。
- (3) 自分と家族の健康状態を知る良い機会になった。

6 実施団体からの意見・感想（回答抜粋）

- (1) 雨天にもかかわらず多くの参加があった。
- (2) 事前申し込みのプログラムについては、雨天の影響か当日のキャンセルが多く苦慮した。
- (3) 参加者が喜んでいる姿が励みになる。

7 まとめ

- (1) 区民スポーツまつりの参加によるスポーツへの興味について、「すでに日常的にスポーツをしている」、「今後も継続してスポーツに取り組みたい」の回答は、約8割を占め、事業が区民のスポーツに親しむ機会として効果的であった。
- (2) 区民スポーツまつりの参加による効果については、「健康増進につながった」「運動不足解消につながった」の合計及び「ストレス発散になった」「楽しくて気分が爽快になった」の合計はそれぞれ約4割を占め、スポーツは心身共に良い影響を与えていることが分かる。
- (3) 本事業を契機にランニングやウォーキングなど、気軽に楽しめるスポーツを継続的に実施するための機会の提供を進めていく。

8 ウォーキングイベントについて

(1) 日時

令和5年10月22日（日）午前9時から正午まで（天候：晴れ）

(2) コース

本蒲田公園～大師橋～多摩川スカイブリッジ～羽田空港公園予定地
（約7.5 Km）

(3) 参加者数

376人

(4) 当日の様子



スタート地点



コース（多摩川沿い）



ゴール地点

(5) まとめ

- ・参加者からは、「楽しかった」、「次回も参加したい」という声とともに、「見晴らしが良かった」、「地元の様子を身近に感じられた」との感想があった。
- ・スポーツ推進委員が、スタート・ゴール地点の運営の他に、コース上で参加者に体調等の確認を呼びかけるなど参加者の安全を確保した。
- ・ウォーキングは取り組みやすいスポーツであり、引き続き、身体を動かす楽しさを体験していただく機会の創出を図っていく。

東京 2020 大会レガシー事業 大田区ランニング教室(第一回)の実施結果について

1 実施概要

- (1) 東京 2020 大会開催によるスポーツへの関心の高まりを受け、気軽に取り組めるスポーツとして人気のあるランニングの普及と区民のスポーツ実施率の向上と健康増進を図るためランニング教室を実施した。
- (2) 日 時 令和5年10月21日(土) 午前10時00分～午前11時30分
(天候:晴天)
- (3) 場 所 平和の森公園・大森ふるさとの浜辺公園ランニングコース
- (4) 参加人数 15名(男性5人、女性10人
30代1人、40代1人、50代8人、60代2人、70代3人)
- (5) 講 師 大神田 幸子氏 (株)オーエンス所属 健康運動指導士

2 教室の内容

平和の森公園の芝生広場で、ストレッチを行い体を動きやすい状態にし、正しいフォームで走ることができるように「姿勢・足運び・体重移動」をマスターするための指導を受け、約3kmのランニングコースを走行した。

3 参加者の感想など

「ランニングフォームを学べてよかった。」「また参加したい。」という感想があった。



「第1回 WBSC 女子U-15 ソフトボールワールドカップ 2023」大会結果報告について

1 報告の概要

(1) 大会開催の意義

第1回大会となるWBSC（世界野球ソフトボール連盟）主催の15歳以下女子ソフトボール世界大会が東京で開催された。

今大会の開催は、日本のみならず世界中の若者に対し、ソフトボールの魅力を伝え、競技者やファンを増やす絶好の機会となった。

ソフトボール競技は、2028年ロサンゼルスオリンピックで復活することが決まっており、今大会に出場した選手達の活躍が期待される。

(2) 日 時 令和5年10月21日（土）から10月29日（日）まで

(3) 競技会場

東京都世田谷区	駒沢オリンピック公園総合運動場
東京都世田谷区	世田谷区総合運動場野球場
東京都大田区	大田スタジアム

(4) 実 施

主催	世界野球ソフトボール連盟（WBSC）
主管	公益財団法人日本ソフトボール協会（JSC）
共催	東京都

2 大会の内容

(1) 大会規模

選手団は、日本を含む世界各地より12チームが参加

- ・ヨーロッパ チェコ、イタリア
- ・オセアニア ニュージーランド
- ・北中南米 アメリカ、メキシコ、プエルトリコ、ブラジル、ペルー
- ・アジア 日本、チャイニーズタイペイ、フィリピン
- ・アフリカ ウガンダ



10月26日（木）
プエルトリコ vs 台湾 戦



10月26日（木）
プエルトリコの選手と記念写真

(2) 学校観戦・交流イベント

① 学校観戦

各国から集まった同世代のアスリートの活躍に触れ、スポーツへの関心を深めるとともに各国選手との交流を通じて、国際感覚を育む機会を提供する。

② 交流イベント

応援フラッグにメッセージを記入、試合観戦時に大会会場へ掲出して応援する。また、観戦後、選手と一緒に記念写真の撮影を実施。

③ 大田区の学校観戦校

千鳥小学校、東蒲小学校、六郷小学校、山王小学校、調布大塚小学校、赤松小学校

3 大会の結果

GROUP 1 (グループ1)							GROUP 2 (グループ2)								
Team	USA	Puerto Rico	Czechia	Brazil	Philippines	Ukraine	Rank	Team	USA	Puerto Rico	Czechia	Brazil	Philippines	Ukraine	Rank
JAPAN							1	USA							1
CHINA TAIPEI	1-0						2	Puerto Rico	2-0						2
MEXICO	1-0	2-0					3	Czechia	2-0	2-0					4
ITALY	1-0	2-0	2-0				4	Brazil	2-0	2-0	2-0				5
PERU	1-0	2-0	2-0	2-0			5	Philippines	2-0	2-0	2-0	2-0			3
NEW ZEALAND	1-0	2-0	2-0	2-0	2-0		6	UKRAINE	2-0	2-0	2-0	2-0	2-0		6

PLACEMENT ROUND (準ファイナランド)						SUPER ROUND (スーパーラウンド)							
Team	USA	Puerto Rico	Czechia	Brazil	Philippines	Rank	Team	USA	Puerto Rico	Czechia	Brazil	Philippines	Rank
USA						1	USA						1
Puerto Rico	1-0					2	Puerto Rico	2-0					2
Czechia	1-0	1-0				3	Czechia	2-0	2-0				3
Brazil	1-0	1-0	1-0			4	Brazil	2-0	2-0	2-0			4
Philippines	1-0	1-0	1-0	1-0		5	Philippines	2-0	2-0	2-0	2-0		5
Ukraine	1-0	1-0	1-0	1-0	1-0	6	Ukraine	2-0	2-0	2-0	2-0	2-0	6

WORLD CHAMPIONSHIP FINAL & BRONZE MEDAL GAME		
Rank	Team	Score
1	USA	2-0
2	Puerto Rico	0-0
3	JAPAN	0-0
4	CHINA TAIPEI	0-0

1位 アメリカ 2位 プエルトリコ 3位 日本
4位 チャイニーズタイペイ

4 大田区出身選手

中村 律 投手 (神田女学園中学校 3年生)

スーパーラウンド 10.26 vs フィリピン戦 (1回登板)

10.28 vs プエルトリコ戦 (1回登板)

ふる浜スポーツフェスティバルの実施結果について

1 概要

(1) 目的

大森東水辺スポーツ広場ビーチバレー場は、東京2020大会のブラジル事前キャンプが行われた、大会のレガシーが残る場所である。この場所を活用し、ビーチバレーボール大会や様々な競技の体験会、ブラジル文化を取り入れた事業を開催することで、大会の記憶を区民に伝えるとともに、ビーチバレー場の認知度向上を図る。また、2025年には、デフリンピックのビーチバレーボールの公式会場となることが決まっているため、その周知を図る機会とする。

(2) 日時 令和5年10月29日(日) 午前10時30分から午後3時まで

(3) 場所 大森東水辺スポーツ広場 ビーチバレー場 ほか

(4) 主催：大田区 主管：大田区ビーチスポーツ連盟 協力：駐日ブラジル大使館

(5) 参加者数 約900人(延べ)

2 内容

(1) 2023ブラジル大使館杯ビーチバレーボール大会

ア 開会式(メインコート)

イ 4人制大会(サブコート)

①区内中学生大会 7チーム

②一般大会(男女ミックス制) 9チーム

(2) ビーチスポーツ体験会(メインコート)

内容：ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカー、
ビーチフラッグス、ビーチ綱引き

(3) オリンピック競技体験会(フットサル場、バスケットゴールほか)

内容：サッカー、バスケットボール、サーフィン、ボクシング

(4) タグラグビー体験等(多目的スポーツ広場)

内容：区と包括連携に関する協定を締結した東京ガス株式会社、大田区ラグビーフットボール協会と連携したタグラグビー体験など

(5) ブラジルフェスタ(ビーチバレー場周辺ほか)

ア ブラジル料理キッチンカー出店

イ ブラジルサンバチームによる近隣商店街の練り歩き

ウ ブラジルに関する〇×クイズ

3 当日の様子



ビーチバレーボール大会



ビーチスポーツ体験会

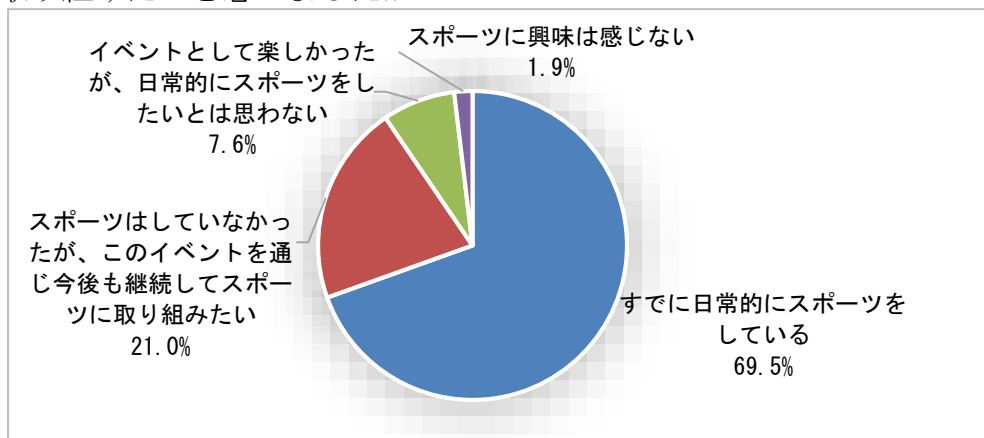


サンバパフォーマンス

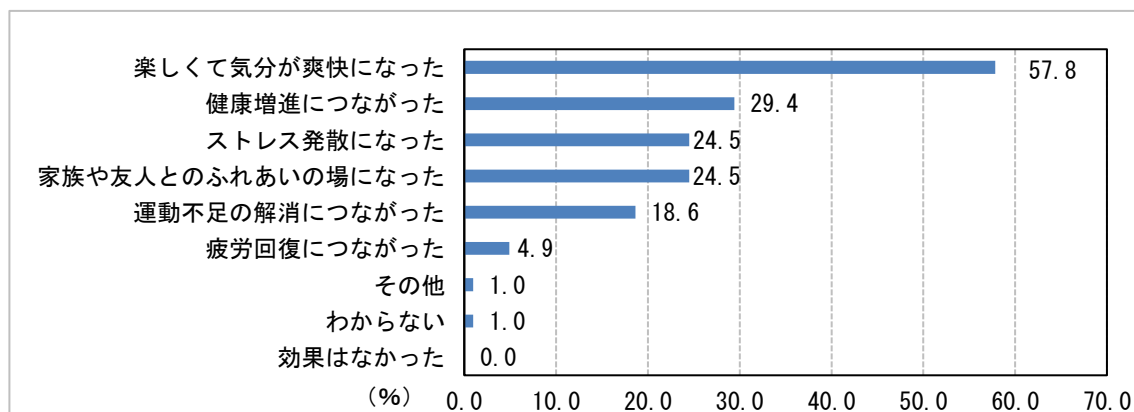
4 アンケート集計結果

回答者数：108人

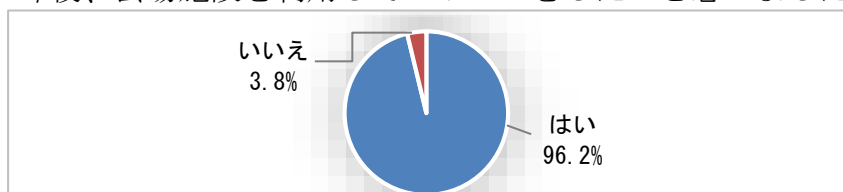
(1) ふる浜スポーツフェスティバルに参加したことで、これまで以上にスポーツに取り組みたいと思われましたか？



(2) ふる浜スポーツフェスティバルに参加してどのような効果がありましたか？
(複数回答可)



(3) 今後、会場施設を利用してスポーツをしたいと思われましたか？



・「すでに日常的にスポーツしている」が69.5%、「スポーツはしていなかったが、このイベントを通じ今後も継続してスポーツに取り組みたい」が21.0%で、スポーツに継続的に取り組む意欲のある人の合計が90.5%を占めた。

・参加した効果については、「楽しくて気分が爽快になった」が57.8%、「健康増進につながった」が29.4%と上位を占め、参加者が心身ともに健康につながる効果を実感できたと考えられる。

・今後、会場施設を利用してスポーツをしたい方が96.2%を占めており、今回のイベントで、大森東水辺スポーツ広場ビーチバレー場等の利用促進PRにつながったと考えられる。

・引き続き、区民のスポーツ継続実施のきっかけと健康増進につながる機会を提供するとともに、ビーチバレー場等の認知度向上に努めていく。

大田観光協会事業「勝海舟生涯探訪モニターツアー」について (実施結果)

1 事業目的

勝海舟生誕200年にあたる本年、勝海舟ゆかりの地である墨田区、台東区、港区、大田区に存在する史跡を4区連携により巡ることで、江戸を救い、首都東京を創った人物の生涯に触れ、勝海舟記念館を擁する大田区の魅力を区内外に広くPRした。

2 実施概要

(1) 実施日時

第1回 8月24日(木) 午前8時30分から午後4時30分

第2回 9月28日(木) 午前8時30分から午後4時30分

(2) 募集人数

各回30名

(3) ツアー代金

9,800円(お一人様・税込)

(4) ツアー行程(バスで移動)

東京駅集合⇒生誕の地(両国公園)⇒西郷隆盛銅像・彰義隊戦死者碑(上野公園)
⇒勝海舟邸跡(赤坂子ども中高生プラザ)⇒昼食(今半池上本門寺店)
⇒西郷隆盛と勝海舟会見の碑(池上本門寺奥庭・松濤園を特別公開)
⇒勝海舟夫妻墓所・南洲留魂詩碑(洗足池)⇒勝海舟記念館 現地解散

3 実施結果・成果

(1) 応募状況

- ・応募者数 98名(定員60名。抽選により参加者決定)
- ・応募者年代 20代から80代まで幅広く参加いただいた。
- ・応募者の居住地 大田区民のほか、都下(港、新宿、墨田、品川、中野、荒川、八王子、多摩)、栃木、千葉、神奈川等と広く参加いただいた。

(次項あり)

(2) アンケート結果（回収率は約 85%）

- ・ ツアー内容 「良かった」と「やや良かった」が 89.5%
- ・ ツアー満足度 「大変満足」と「満足」が 91.5%
- ・ 他人に薦めるか 「薦める」82%
- ・ 特に良かったスポット 「池上本門寺」70% *松濤園特別公開への評価が高い。
「生誕の地」62%、「勝海舟記念館」44%
- ・ ツアーのボリューム 「丁度良い」66%、「やや多かった」25%
- ・ その他自由意見

「各区のガイド・学芸員の解説がわかりやすく楽しく聞かせてもらった」という趣旨の意見が多かった。

(3) マスコミ報道

J:COM7月10日、毎日新聞7月17日朝刊、東京新聞9月14日朝刊

(4) その他（大田区土産のPR）

- ・ 勝海舟記念館でのグッズ紹介
- ・ 希望者を京急蒲田駅までバスで送迎し、大田区観光情報センターを案内

4 今後の方向性

勝海舟生誕200年のタイミングに合わせ、大田観光協会として初の4区連携によるモニターツアーを企画・実施したが、各区からガイド等の協力が得られ、参加者の満足度も高かった。今後、各区・関係者と協議しながら、継続的な事業実施に向け検討する。



墨田区（生誕の地）



台東区（西郷隆盛銅像）



港区（勝海舟邸跡）



大田区（池上本門寺・松濤園）



大田区（勝海舟夫妻墓所）



大田区（勝海舟記念館）

大田観光協会事業「Instagramキャンペーン #おおたの押しグルメ」 について（実施結果）

1 事業目的

区内の飲食店やグルメなどをユーザー目線でおすすめしてもらうことで、新たな魅力の掘り起こしを図る。また参加者一人ひとりに区をPRする役割も担ってもらうことでSNSの拡散力を効果的に活用した情報発信を行い、誘客の多角化を促す契機とする。

2 実施概要

(1) 実施内容

Instagramを利用したフォトキャンペーン

(2) 募集期間

8月1日（火）から9月30日（土）まで

(3) テーマ

応募者が「好き」「応援したい」大田区内の飲食店及びグルメ

(4) 賞品

応募者の中から抽選でプレゼント

3 実施結果

(1) 応募数（投稿数）

244件

(2) 投稿者数

69人（重複を除く）

(3) いいね数

9,523（ユーザー投稿についた数）



(次項あり)

(4) 新規獲得フォロワー数

371 アカウント (実施前 304→675)

大蒲田祭(8月6日)、池上祭(8月27日)等のイベントでフォロワー増を目指したゲームを行ったことが効果的であった。



4 今後の方向性

今後もさまざまな角度からキャンペーンを実施することで、新たな魅力の発掘や参加者による SNS 拡散力強化につなげ、効果的な情報発信を行っていく(11月1日~12月15日は「Instagram キャンペーン #みんなのはねぴょん」を実施中)。

大田観光協会の取組について（実施結果）

1 第10回丸子の渡し祭り

(1) 事業目的

近隣自治体である川崎市との連携により、両都市の貴重な地域資源である水辺（多摩川）の魅力を生かして「丸子の渡し」乗船体験等を通じて体感していただく。

あわせて住民相互の友好交流を深め、地域団体と連携したイベントも同時開催することで水辺エリアの魅力を区内外に広くPRする。

(2) 実施日時

令和5年9月23日（土・祝） 午前10時～午後3時

(3) 会場

大田区側 多摩川丸子橋緑地（大田区田園調布本町）

川崎市側 丸子橋第一広場（川崎市中原区上丸子八幡町）

(4) 実施内容

ア 丸子の渡し乗船体験

(ア) 乗船内訳：中学生以上145名/小学生72名/未就学児70名（大田区側）

(イ) 乗船者数：566名（大田区側と川崎市側の合計）

イ 多摩川ミニ水族館（うのき水辺の楽校）

ウ 大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」グッズ販売及び大田区観光案内

エ 食品ロス削減パネル展示及び塗り絵コーナー（大田区環境公社）

オ バルーンアート（川崎市との共通イベント）

(5) 総括

ア 前日の雨及び当日朝までの雨で出足が心配されたが、昨年並みの乗船者数だった。

イ 乗船体験では「水面から見た景色が素晴らしかった」という声が多かった。

ウ 多摩川ミニ水族館では、子どもたちの説明に大人が感心して聞いていた。

エ 今回初参加した、大田区環境公社の塗り絵コーナーは子どもに人気だった。

オ 「はねぴょん」は川崎市民にも好評で良いPRになった。



乗船体験



多摩川ミニ水族館



塗り絵コーナー

(次項あり)

2 大森クイズラリー

(1) 事業目的

大森エリアの魅力（文化・歴史・観光・グルメ等）を再発見するクイズラリーの実施を通して、エリア内への誘客・回遊を図り、地域の賑わい創出や消費行動促進による地域経済活性化の契機とする。併せて、大森の魅力を発信するイベント「OMORI KAORU MARKET」との同時開催により、イベントの相乗効果を高めるとともに関係団体・人とのネットワーク強化を図る。

(2) 実施日時

令和5年10月21日(土) 午前10時～午後5時、10月22日(日) 午前10時～午後4時

(3) 会場

JR大森駅周辺エリア：西側 池上通り（ジャーマン通り～環七通り）

東側 東口駅前広場、大森銀座（ミルパ）商店街

スポット：Luz大森、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館、八景・天祖神社、善慶寺、鷲神社、海苔養殖業発祥の地記念碑、各店舗

(4) 実施内容

ア 大森クイズラリー

(ア) ポイント個所：スタンプ2箇所・クイズスポット14箇所（文化施設・店舗等）

(イ) 参加者数：562名

(ウ) 連携団体数：26団体

※観光協会単体での実施ではなく、地域団体等との連携を図ることで、「観光まちづくり」に寄与する取り組みとして実施した。

イ 「今と昔の大森」企画展（Luz大森会場）、大森ジオラマ展示

ウ 商店街連合会関連イベントとの連携（OMORI KAORU MARKETとの同時開催）

エ 区観光プロモーション（秋のイベントチラシや観光協会発行パンフレット等配布）

(5) 総括

ア アンケート結果（回収数は169）

満足度 大変満足 51.8%、満足 44%

大森に対する印象 更に良くなった 37.8%、良くなった 52.4%

一方、ラリーを通して食事や買い物をした人としなかった人は半々で、より消費行動を促す仕掛けの必要性を感じた。

イ 大森駅周辺イベントとの同時開催により、イベントに来てそのままラリーに参加した方も多く相乗効果があった。参加店舗からは「地域を盛り上げることに関わって良かった」との意見が多数あった。



スタート&ゴールの様子



クイズスポット(店舗)での様子



Luz大森展示「今と昔の大森」